

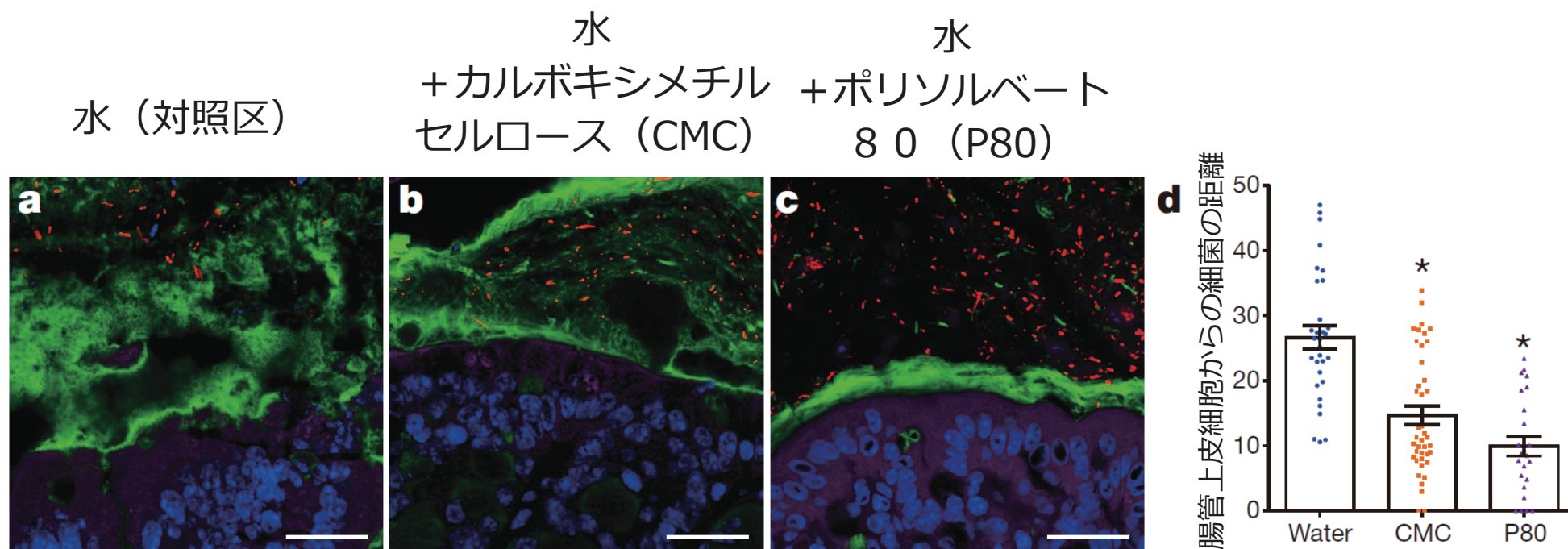


図5 食品乳化剤が腸の粘膜を破壊し腸の炎症やメタボリックシンドロームを引き起こす

食品中に含まれている乳化剤が腸の粘膜細胞を守っている粘膜層を破壊し、腸管上皮細胞と腸内細菌の距離が短くなっている。水を対照区として、カルボキシメチルセルロース (CMC) とポリソルベート 80 (P80) をそれぞれ添加した水を 12 週間にわたって飲ませた。左の写真はマウスにおける腸管上皮細胞の共焦点顕微鏡写真。図で緑色は粘液部分、赤色は細菌。右のグラフは、腸管上皮細胞からの細菌の距離を示すデータ。図は文献 [11] の図の 1 部を抽出し掲載。